

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月3日 東

上場会社名 株式会社JCU 上場取引所
 コード番号 4975 URL http://www.jcu-i.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 粕谷 佳允
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 粕谷 多聞 (TEL) 03-6895-7001
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 14,678 | △0.4 | 3,748 | 5.7 | 3,790 | 2.5 | 2,589 | 3.6 |
| 27年3月期第3四半期 | 14,729 | 25.7 | 3,547 | 87.7 | 3,698 | 77.1 | 2,499 | 118.8 |

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 2,185百万円(△24.1%) 27年3月期第3四半期 2,879百万円(74.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 367.14 | — |
| 27年3月期第3四半期 | 354.37 | — |

(注) 平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 21,534 | 15,037 | 69.4 |
| 27年3月期 | 21,616 | 13,633 | 62.7 |

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 14,940百万円 27年3月期 13,545百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 80.00 | — | 50.00 | — |
| 28年3月期 | — | 60.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 60.00 | 120.00 |

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成28年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 10円00銭

平成28年3月期 期末配当金(予想)の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

平成27年3月期の年間配当金合計は、第2四半期末(分割前基準)と期末(分割後基準)で単純合計できませんので、記載しておりません。

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 20,000 | 1.0 | 5,000 | 8.5 | 5,000 | 3.4 | 3,500 | 9.2 | 496.15 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年3月期3Q | 7,054,800株 | 27年3月期 | 7,054,800株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期3Q | 466株 | 27年3月期 | 466株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年3月期3Q | 7,054,334株 | 27年3月期3Q | 7,054,334株 |

(注) 平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中東地域の混乱等の景気の下押しリスク要因があるものの、米国と欧州の景気は個人消費の持ち直し等により緩やかな回復基調にあります。一方、中国景気は民間投資の増勢鈍化の影響もあり減速基調にあります。また、日本経済におきましては、中国を中心とした新興国や資源国の景気減速の影響により、景気の踊り場にあります。

このような状況のもと、当社グループの業績は、薬品事業の売上高は好調に推移したものの、装置事業や新規事業の売上高が前年を下回ったため、売上高は14,678百万円（前年同期比0.4%減）となりました。一方、営業利益は3,748百万円（前年同期比5.7%増）、経常利益は3,790百万円（前年同期比2.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,589百万円（前年同期比3.6%増）とそれぞれ前年同期を上回りました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(薬品事業)

薬品事業におきましては、中国、韓国におけるプリント配線板用めっき薬品の販売が順調に推移し、また中国では、自動車用めっき薬品の販売も順調に推移しました。この結果、売上高は12,793百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益は、4,824百万円（前年同期比6.9%増）と前年を上回りました。

(装置事業)

装置事業におきましては、一部の顧客において設備投資に前向きな動きが見られ始めたものの、売上高は1,323百万円（前年同期比37.2%減）となりました。また、セグメント利益は41百万円（前年同期比61.9%減）と前年を下回りました。

(新規事業)

新規事業におきましては、プラズマ装置の売上計上などにより、売上高は561百万円（前年同期比37.4%減）となりました。セグメント損失は、売上が減少した結果、370百万円（前年同期はセグメント損失314百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ82百万円（0.4%）減少し、21,534百万円となりました。

流動資産は、主に繰延税金資産の減少により266百万円（1.7%）減少し、15,244百万円となりました。

固定資産は、主に外国法人の株式取得による投資有価証券の増加により184百万円（3.0%）増加し、6,289百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,486百万円（18.6%）減少し、6,496百万円となりました。

流動負債は、主に税金納付による未払法人税等の減少により1,116百万円（19.8%）減少し、4,520百万円となりました。

固定負債は、主に借入返済による長期借入金の減少により370百万円（15.8%）減少し、1,976百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、主に配当金支払による利益剰余金の減少と四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ1,404百万円（10.3%）増加し、15,037百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年11月4日の「平成28年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表における影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,013,660 | 6,889,245 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,695,632 | 6,072,474 |
| 商品及び製品 | 1,110,917 | 1,043,389 |
| 仕掛品 | 134,888 | 81,374 |
| 原材料及び貯蔵品 | 401,445 | 367,883 |
| 繰延税金資産 | 513,526 | 147,344 |
| その他 | 825,999 | 842,797 |
| 貸倒引当金 | △184,230 | △199,565 |
| 流動資産合計 | 15,511,838 | 15,244,942 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,740,086 | 2,090,831 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 608,694 | 657,572 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 404,111 | 466,475 |
| 土地 | 522,824 | 522,824 |
| リース資産（純額） | 137,036 | 128,471 |
| 建設仮勘定 | 699,169 | 135,983 |
| 有形固定資産合計 | 4,111,922 | 4,002,159 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 21,779 | 15,588 |
| その他 | 68,518 | 81,611 |
| 無形固定資産合計 | 90,298 | 97,200 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,504,670 | 1,728,398 |
| 繰延税金資産 | 5,197 | 61,856 |
| その他 | 392,316 | 399,539 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 投資その他の資産合計 | 1,902,185 | 2,189,793 |
| 固定資産合計 | 6,104,406 | 6,289,153 |
| 資産合計 | 21,616,245 | 21,534,095 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,320,088 | 2,154,799 |
| 短期借入金 | 267,038 | 137,972 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 551,844 | 502,653 |
| リース債務 | 17,981 | 17,594 |
| 未払法人税等 | 1,128,214 | 245,539 |
| 賞与引当金 | 361,264 | 233,756 |
| 工事損失引当金 | 13,962 | 13,962 |
| 前受金 | 232,357 | 229,765 |
| 繰延税金負債 | 26,773 | 29,217 |
| その他 | 716,599 | 954,842 |
| 流動負債合計 | 5,636,123 | 4,520,103 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,019,469 | 629,748 |
| リース債務 | 155,968 | 148,625 |
| 退職給付に係る負債 | 801,116 | 879,047 |
| 繰延税金負債 | 53,220 | 126 |
| 資産除去債務 | 204,092 | 205,890 |
| その他 | 113,196 | 113,196 |
| 固定負債合計 | 2,347,063 | 1,976,633 |
| 負債合計 | 7,983,187 | 6,496,737 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,176,255 | 1,176,255 |
| 資本剰余金 | 1,128,904 | 1,129,933 |
| 利益剰余金 | 9,514,099 | 11,328,041 |
| 自己株式 | △714 | △714 |
| 株主資本合計 | 11,818,545 | 13,633,515 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 283,080 | 243,120 |
| 為替換算調整勘定 | 1,443,739 | 1,064,204 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,726,819 | 1,307,324 |
| 非支配株主持分 | 87,692 | 96,517 |
| 純資産合計 | 13,633,057 | 15,037,358 |
| 負債純資産合計 | 21,616,245 | 21,534,095 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 14,729,892 | 14,678,003 |
| 売上原価 | 6,248,084 | 5,526,161 |
| 売上総利益 | 8,481,807 | 9,151,842 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び手当 | 1,608,536 | 1,714,992 |
| 賞与 | 470,207 | 497,317 |
| 退職給付費用 | 94,001 | 102,728 |
| 減価償却費 | 202,527 | 237,967 |
| 貸倒引当金繰入額 | 6,021 | 20,686 |
| その他 | 2,552,644 | 2,829,425 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 4,933,939 | 5,403,117 |
| 営業利益 | 3,547,868 | 3,748,724 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 14,995 | 16,958 |
| 受取配当金 | 26,983 | 27,121 |
| 為替差益 | 117,165 | - |
| 持分法による投資利益 | 198 | - |
| 助成金収入 | 2,517 | 18,547 |
| 受取家賃 | 3,337 | 17,962 |
| その他 | 8,187 | 6,563 |
| 営業外収益合計 | 173,385 | 87,153 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 21,259 | 17,222 |
| 為替差損 | - | 25,150 |
| 持分法による投資損失 | - | 143 |
| その他 | 1,689 | 2,795 |
| 営業外費用合計 | 22,949 | 45,312 |
| 経常利益 | 3,698,304 | 3,790,566 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 5,803 | 4,252 |
| 特別利益合計 | 5,803 | 4,252 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 7 | 153 |
| 固定資産除却損 | 1,302 | 7,564 |
| 投資有価証券評価損 | 467 | - |
| 段階取得に係る差損 | 4,064 | - |
| 特別損失合計 | 5,841 | 7,718 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,698,266 | 3,787,100 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 872,720 | 898,948 |
| 法人税等調整額 | 264,779 | 274,727 |
| 法人税等合計 | 1,137,499 | 1,173,675 |
| 四半期純利益 | 2,560,767 | 2,613,425 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 60,921 | 23,506 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,499,845 | 2,589,918 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 2,560,767 | 2,613,425 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 130,430 | △39,960 |
| 為替換算調整勘定 | 182,476 | △388,208 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 5,656 | - |
| その他の包括利益合計 | 318,564 | △428,168 |
| 四半期包括利益 | 2,879,331 | 2,185,256 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,816,081 | 2,170,423 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 63,250 | 14,833 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末に比して著しい変動がないため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------------|------------|-----------|----------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 薬品事業 | 装置事業 | 新規事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,727,685 | 2,106,556 | 895,649 | 14,729,892 | — | 14,729,892 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | 502 | 502 | △502 | — |
| 計 | 11,727,685 | 2,106,556 | 896,151 | 14,730,394 | △502 | 14,729,892 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | 4,512,464 | 108,417 | △314,866 | 4,306,014 | △758,146 | 3,547,868 |

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 |
|------------|--------------|
| セグメント間取引消去 | 5,420 |
| 全社費用※ | △763,567 |
| 合計 | △758,146 |

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------------|------------|-----------|----------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 薬品事業 | 装置事業 | 新規事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,793,030 | 1,323,931 | 561,041 | 14,678,003 | — | 14,678,003 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | 381 | 381 | △381 | — |
| 計 | 12,793,030 | 1,323,931 | 561,423 | 14,678,384 | △381 | 14,678,003 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | 4,824,029 | 41,255 | △370,232 | 4,495,053 | △746,328 | 3,748,724 |

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益 (単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 |
|------------|--------------|
| セグメント間取引消去 | 4,767 |
| 全社費用※ | △751,095 |
| 合計 | △746,328 |

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。